

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 4 月 7 日 (2016.4.7)

【公開番号】特開 2014-183435 (P2014-183435A)
 【公開日】平成 26 年 9 月 29 日 (2014.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-053
 【出願番号】特願 2013-56203 (P2013-56203)
 【国際特許分類】

H 0 3 H 9/19 (2006.01)

H 0 3 H 9/215 (2006.01)

【F I】

H 0 3 H 9/19 J

H 0 3 H 9/215

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 2 月 23 日 (2016.2.23)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基部と、

前記基部の一端側から延出している第 1 の振動腕および第 2 の振動腕と、

前記基部の前記一端側から前記振動腕の延出方向に沿って延出しており、前記延出方向に直交する幅方向において前記第 1 の振動腕と前記第 2 の振動腕との間に配置されている支持腕と、

前記基部の前記一端とは反対の他端側であって、前記振動腕の幅の範囲および前記支持腕の幅の範囲の少なくとも一方に設けられている突起と、
を備えていることを特徴とする屈曲振動片。

【請求項 2】

前記支持腕は、前記基部との付け根部分であって前記幅方向に交わる両側面に支持腕テーパー部を備えており、

前記突起は、前記支持腕の前記両側面により規定される幅の範囲であって前記他端側の領域に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の屈曲振動片。

【請求項 3】

前記基部の前記他端は、前記支持腕の前記延出方向とは反対方向へ向かうに従い前記幅方向の幅が漸減していることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の屈曲振動片。

【請求項 4】

前記振動腕は、前記基部の前記幅方向における端部側であって前記幅方向に交わる側面に、振動腕テーパー部を備えており、

前記突起は、前記振動腕テーパー部の幅の範囲であって前記他端側の領域に設けられていることを特徴とする請求項 3 に記載の屈曲振動片。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の屈曲振動片を備えることを特徴とする振動デバイス。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の屈曲振動片を備えることを特徴とする電子機

器。

【請求項 7】

請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の屈曲振動片を備えることを特徴とする移動体

。